

令和元年度 教育実践優秀教員が決まりました。

令和元年度教育実践優秀教員として6名が決まりました。

この表彰は、香川県の学校教育において、積極的な取り組みを行い、顕著な成果をあげている教員を評価するとともに、その成果を普及し、教員の資質の向上や意欲の高揚を図り、学校の活性化に資することを目的としています。

- 表彰される教育実践優秀教員は別紙のとおりです。
- 最終審査まで残ったものの、教育実践優秀教員には選ばれなかった4名の教員に、教育実践奨励賞として賞状を授与します。
- 表彰式を次の日程で行います。

表彰式の開催（予定）

1 日 時 令和元年11月1日（金）
15：00～15：30

2 場 所 香川県庁本館21階 特別会議室

令和元年度教育実践優秀表彰の概要

1 目的 学校教育において、積極的な取り組みを行い、顕著な成果をあげている教員を適切に評価するとともに、その成果を普及することにより、教員の資質の向上や意欲の高揚を図り、学校の活性化に資する。

2 本表彰制度の開始年度 平成15年度

3 表彰者数（案） 教育実践優秀教員 6名（30年度 5名）
教育実践奨励賞 4名（30年度 6名）

4 応募数 26名

内訳	○校種別	小 15名	中 6名	高・特 5名
	○男女別	男 12名	女 14名	
	○年齢別	20代 2名	30代 8名	
		40代 11名	50代 5名	
	○分野別	学習指導等 13名	校務分掌等 1名	
		学校体育等 8名	部活動等 2名	
	特別支援教育等 2名	その他 0名		

<参考> 過年度の応募数 15年度：31名 16年度：24名 17年度：25名
18年度：38名 19年度：42名 20年度：48名
21年度：61名 22年度：59名 23年度：60名
24年度：52名 25年度：22名 26年度：29名
27年度：43名 28年度：39名 29年度：34名
30年度：34名

5 選考等日程

12月 1日 募集通知（前年度）
6月 5日 募集締切（26名の応募）
8月 2日 第1回選考委員会（委員の任命、一次選考：10名選出）
9月 4日 第2回選考委員会（二次選考：プレゼンテーション実施）
（最終選考：5名程度選出）
9月10日 定例教育委員会（被表彰者の決定）

6 表彰式 令和元年11月1日（金）

7 表彰の効果等

教育実践優秀教員に選ばれた者は、給与上の優遇措置や中央研修等への参加に優先的に推薦されるほか、各種研修会の講師を務めている。

また、教育実践優秀に選ばれたレポートについては、レポート集として、県内の小・中・県立学校に配布し、義務教育課と教育センターのホームページ上にも掲載して、普及を図っている。

令和元年度 教育実践優秀表彰の表彰者一覧

○教育実践優秀教員

学 校 名	実践のテーマ	実 践 の 概 要 等
観音寺市立一ノ谷小学校 教諭 藤田 直代 47歳	学ぶ楽しさ、分かる喜びを実感できる授業づくり ～ 主体的・対話的に学び合う国語科書写学習を通して ～	文字を整える「原理・原則」と上手に書くためのコツを見つけることを通して、「学ぶ楽しさ」や「分かる喜び」を味わう書写学習を目指した教育実践である。 実践においては、学習過程に字形の整っていない文字をみて課題を発見する活動、分解文字を活用したり数種類の字形を比較したりして文字を整える「原理・原則」を考える活動、文字カードを3つの字形に分類する活動等を組み入れることで、児童に整った文字を書くことへの達成感を味わわせ学習意欲を向上させるなど大きな成果を上げている。
綾川町立綾南中学校 教諭 池下 栄子 51歳	学びにときめかせる授業づくり ～ 生徒から多様な考えを引き出し、深い学びに向かわせるための手立ての工夫 ～	「ときめく学習課題」の設定や、グループ活動を活性化させるための教材の工夫によって、生徒が多様な考えをもち、学びを深めていく数学の授業を目指した教育実践である。 実践においては、「縦に3個積んだサイコロの隠れた5面の数の和は？」など考えたい、友だちの考えが気になると思える課題や、「移動する2つの図形の重なり面積のグラフはどれか？」など具体物や図を使ってグループで議論する場の工夫によって、生徒が数学的に考えるおもしろさを感じ、意欲的に課題解決に向かうなど大きな成果を上げている。
観音寺市立観音寺中学校 教諭 伊賀瀬 美保 55歳	生徒会活動を軸とした積極的な生徒指導について	「校歌うたい隊」の結成や生徒会スローガンの決定などの生徒会活動の活性化によって、より良い学校を自分たちで作ろうとする生徒の育成を目指した教育実践である。 実践においては、心得の設定や缶バッジの創作などの工夫を加えながら、練習を重ね一生懸命に校歌を歌う「校歌うたい隊」200名の活動や、年間を通じた生徒会スローガンの旗を製作し体育館ステージに掲げる活動に、数年間に渡って寄り添い指導することで、生徒の学校に対する誇りと帰属意識の高揚に大きな成果を上げている。
香川県立三木高等学校 教諭 山上 まどか 45歳	三木高KOMINO開発計画について	地元企業や地元で活躍する人を知り、地域の魅力と課題に直接触れ様々な形で協力する活動を通して、将来、地域に貢献する人材を育成することを目指した教育実践である。 実践においては、特産品を使った商品開発や、夏祭りなどのイベントの企画運営、Webページの作成による情報発信、さらには企業経営者との座談会、中学生への出前授業などに取り組むことで、生徒の技術力や発想力、コミュニケーション能力が向上するとともに、地域社会に貢献できる人材としての素地を身につけるなど大きな成果を上げている。

<p>香川県立高松高等学校 教諭 大森 絵美 46歳</p>	<p>生徒の30年後を見据えた英語教育の実践について ー 思考力・創造力・共感力を高めるプロジェクト型学習の実践事例 ー</p>	<p>新聞記事の活用、文学的教材の活用、生徒によるオリジナルテストの作成を取り入れ、思考力・創造力・共感力を身につけさせる英語授業を目指した教育実践である。 実践においては、新聞記事を読んで考えたことを英語で書かせたり、英語文学に触れ登場人物や筆者の思いを想像させたり、英文の行間を読み取らせ複数の答えを引き出すようなテスト問題を作らせたりすることで、授業における主体的・能動的な学習態度を培うと同時に、英語そのものへの興味・関心を向上させるなど大きな成果を上げている。</p>
<p>香川県立坂出高等学校 教諭 田所 博 39歳</p>	<p>吹奏楽部における効果的な音程の合わせ方を考察する ～ オクターブ・ユニゾンに特化したスコアリーディング ～</p>	<p>30段を超える五線譜からなる総譜（スコア）を読みやすくし、音程を良くして吹奏楽の合奏技能を効果的に向上させる指導方法の確立を目指した教育実践である。 実践においては、吹奏楽の各移調楽器の実音への読み替えを把握し、オクターブ・ユニゾンに整理して、各音域に分割して練習させることで異なる楽器同士で容易に音を合わせられ、飛躍的に合奏の力を向上させることができた。同時に、生徒が合奏の面白さや感動体験を共有でき、意欲・関心を高めるといった大きな成果を上げている。</p>

○教育実践奨励賞

学校名	職名	氏名	年齢	テーマ
さぬき市立津田小学校	教諭	谷口 久美	49	「つながり」を大切にし、学び合い高め合う児童の育成 ～ 「対話的な学び」を通して～
坂出市立林田小学校	教諭	紅野 真弓	54	地域の人や自然、文化とかかわり、夢に向かう子どもの育成 ～ 地域単元を核とした生活科・総合的な学習の時間の実践 ～
善通寺市立竜川小学校	養護教諭	森 有佳子	48	自らの健康課題に向き合い、健康生活を実践する子どもを育成する ～ カリキュラム・マネジメントによる中学年での健康教育の実践と個への支援 ～
丸亀市立飯山中学校	養護教諭	宮川 和美	49	バイスタンダーサポートを視野に入れた「アクションカード」を使った校内救急体制について